

1 単元名 健康の保持増進と疾病の予防（エ）感染症とその予防

2 単元の目標

- 感染症の予防には、社会的な対策とともに個人の取組が必要であることについて、意見交換などの学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。（関心・意欲・態度）
- HIVとエイズについての見識を深め、正しい知識を基に意思決定・行動選択ができるようにする。（思考・判断）
- 感染症予防の原則について理解し、性感染症の病状と感染拡大の背景について理解できるようにする。（知識・理解）

3 単元について

(1) 生徒の実態

対象生徒は第1学年*組男子*名，女子*名，*組男子*名，女子*名，*組男子*名，女子*名，計**名である。事前アンケートでは*%の生徒が「授業が楽しいと回答しており，授業態度は良好で積極的に授業に取り組んでいる。一方で，「保健の授業で他教科の知識を使ったことはありましたか。」の問いに対し，「はい」と答えた生徒は*%にとどまった。

(2) 指導観

中学校および高等学校で既習となっている他教科の内容を用い，保健の授業内容と関連付けて授業を展開していく。ジグソー学習法やグループ学習を取り入れ，協同的に課題解決を図ることにより，教科横断的な学習の深化を促進させる。

ア 国語 100字要約「新興感染症が流行しやすい理由を100字でまとめよう」（第1校時）

イ 数学 折れ線グラフの記入，計算

ウ 英語 語句の略称（STD，STI，AIDS，AIDS，WHOなど），図の説明の訳

エ 社会 ペストの流行，ヨーロッパの地理，世界地図，日本地図，日本の現代史（1980年代のできごと）

オ 理科 免疫のしくみ，フェノールフタレイン溶液を用いての実験，白血球とリンパの機能

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
学習活動に即した評価規準	① ジグソー学習に取り組もうとしている。 ② 日本と世界のエイズの実態について，グループ学習で意見を出している。 ③ HIVの感染経路について，グループワークで仲間とディスカッションしている。	① ペストが流行した背景について，既習の知識と友達の知識を活用して答えを導いている。 ② 友人がエイズになったらどのように対応するかについて，自分の意見を書き出すことができている。	① 新興感染症が流行した理由を100字でポイントを踏まえて要約できている。 ② 感染ゲームを通して，性感染症が広がりやすい背景を理解している。 ③ 日本と世界のエイズの実態について，正確にメモが取れている。

5 指導と評価計画（4時間扱い）

※（ ）内は授業形態，【 】内は関連付けた教科

段階	時間	主なねらい，学習活動	評価計画		
			関	思	知
① 現代の感染症	1	<p>新興感染症と再興感染症についての知識を深め，新興感染症が流行しやすい理由について深く考え，自分で説明できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時の復習（グループ対抗クイズ） 2 感染症の書き出し（グループ学習） 3 新興感染症と再興感染症（講義型）【社会】 4 新興感染症が流行した理由（ジグソー学習）【社会】【理科】 5 新興感染症が流行した理由のまとめ（個人ワーク）【国語】 	①		①
② 予感 防染 症の	②	<p>ペストの流行を題材に，感染症予防の原則について理解する。また，性感染症の病状を理解するとともに，感染拡大の背景について理解ができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ペストの流行の背景（グループ学習）【社会】 2 感染症予防の原則（講義型） 3 性感染症の現状と病状（講義型）【家庭】【英語】 4 感染ゲーム（体験型）【理科】 5 もしも友人／恋人がエイズだったら（個人ワーク）【国語】 		①	②
③ と性 そ感 の染 予症 防・ エイ ズ	3	<p>エイズに対する他者の考え方を知り，病状の特徴を理解するとともに，日本では新規患者が減少していないことを理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時のアンケートの集計結果（講義型） 2 HIVとエイズの基礎知識（講義型）【理科】【英語】 3 世界におけるエイズの実態（グループ学習）【社会】 4 日本におけるエイズの実態（グループ学習）【社会】 	②		③
④ と性 そ感 の染 予症 防・ エイ ズ	4	<p>エイズの過去と現状を知ることで，HIVとエイズについての見識を深め，正しい知識を基に意思決定・行動選択ができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 エイズパニック（講義型）【社会】 2 HIVの感染経路（グループ学習） 3 HIVの感染リスクと治療薬（講義型）【数学】【英語】 4 もしも友人／恋人がエイズだったら（個人ワーク）【国語】 	③	②	

6 本時の指導（2時間目）




(1) 目標

- ペストが流行した背景について，既習の知識と友達の知識を活用して答えを導いている。
（思考・判断）
- 感染ゲームを通して，性感染症が広がりやすい背景を理解している。
（知識・理解）

(2) 準備・資料

パソコン（1台），プロジェクター（1台），レーザーポインター（1台），タイマー（1台），ホワイトボード（9枚），ホワイトボード用マーカー（9本），筆記用具，タブレット型PC（1台）

(3) 展開

	学習活動・内容	指導上の手立て・評価
導入 7分	1 挨拶, 出席確認 2 前時の班対抗復習クイズ(4択問題) ・再興感染症でないものを選びなさい。 ・新興感染症が流行した理由として間違っているものを選びなさい。	○健康観察および欠席者の確認をする。 ○各班にホワイトボードとペンを配布し, 話し合っ て考えさせ, 前時の授業内容の定着を図るととも に, 協同的に学習するよう助言する。
展開 ① 15分	3 発問1 (グループワーク) 『次の3枚の写真や図で, 今からの 授業内容を推測しよう』   	○プレゼンテーションソフトで絵や図を1枚ずつ順 番に表示する。 1枚目(上段)…ペストによって死屍累々となった 街の絵画 2枚目(下左)…「ローマの嘴の医者」 パウル・フルストの版画 3枚目(下右)…ペストの感染の広がりを示す ヨーロッパ地図

<p>展開①</p>	<p>(1) グループで考える。</p> <p>(2) 各班の考えをホワイトボードに書き、提示する。</p> <p>4 ペストの流行について理解する。 ペストは当時の貿易の主力商品であった動物の毛皮に付着したノミがネズミにつき、ネズミから感染が拡大したことを理解する。</p> <p>5 発問2 (グループワーク) もし、当時の世界を動かせるなら、あなたはどのようにペストの流行を防止しますか？ (1) グループで考える。 (2) 各班の考えをホワイトボードに書き、提示する。</p>	<p>○3枚の絵や図を用いて、どんな内容について学ぶのか、そのストーリーを予測させ、各班で協力して答えを導くよう助言する。</p> <p>○班で出した答えやストーリーを端的にホワイトボードに記入するよう伝える。</p> <p>○前回の授業を踏まえて、本時の授業があることを伝え、感染症に関連しているというヒントを与える。</p> <p>○絵画や図の細部にもヒントが隠されている事を伝える。</p> <p>○机間巡視を行い、各班の話し合いの様子を観察する。</p> <p>○ホワイトボードに記入させ、クラス全体に見えるようにボードを示す。</p> <p>○ペストが流行した背景を説明する。</p> <p>○ペスト流行までの説明を受けて、当時どんな対策を取ることができたかをグループで考えさせる。</p> <p>《評価》 ペストが流行した背景について、既習の知識と友達の知識を活用して答えを導いている。 (思考・判断)</p> <p>○机間巡視を行い、話し合いの様子を観察する。</p> <p>○「毛皮を輸出しない」、「ネズミを退治する」といった意見が出ることを予測する。</p> <p>○各班のホワイトボードを黒板に貼り、いくつかの班の意見を取り上げる。</p>
<p>展開② 20分</p>	<p>6 感染症予防の原則について理解する。(講義型) 発問2で出した意見がそのまま感染源対策、感染経路対策、感受性者対策に分類されることを理解しながら、感染対策の原則について理解する。</p> <p>7 梅毒に関する新聞記事を読む 新聞記事を通して、近年梅毒が増加傾向であることを理解する。</p>	<p>○ペストの対策とともに、インフルエンザの予防にも触れる。</p> <p>○2017年の1年間における梅毒の新規患者が、44年ぶりに5,000人を超えたというニュースをプレゼンテーションソフトで示す。(授業冒頭で配布したプリントにも同様の記事を記載する)</p>

<p>展開 ②</p>	<p>8 性感染症について (1) STD, STI という略称について理解する。 (2) クラミジア, 淋菌感染症, 性器ヘルペス, 尖圭コンジローマといった代表的な性感染症の種類と症状について理解する。</p> <p>9 性感染症の拡大のしくみを理解する。</p> <p>10 感染ゲームを行う。(ワーク)</p>	<p>○STD (Sexually transmitted disease), STI (Sexually transmitted infection)のそれぞれについて, 単語の意味と繋ぎ合わせて説明する。 ○プレゼンテーションソフトを用いて, それぞれの病気の症状を写真で示す。</p> <p>○パートナーの過去の性的接触によって, 自分が感染するリスクがあることを説明する。</p> <p>ルール</p> <p>(1) 水の入ったコップを1人1つ選ぶ。ただし4つだけ菌(水酸化ナトリウム水溶液)が入ったコップがある。 (2) 3人と水の中身の交換をする。 (3) 何人が感染しているかを予想する。 (4) フェノールフタレイン溶液を滴下し, 何人が感染しているかを確認する。 (5) 感染源のコップを予測する。 (6) コップの裏側を確認する。(感染源のコップには印がついている)</p>
<p>まとめ 8分</p>	<p>11 感染ゲームからわかることの意図の説明を聞く。</p> <p>性感染症はパートナーや友達にも相談しづらく, 症状があまり出ないことから, 感染が拡大しやすいことを理解する。</p> <p>12 発問3 (個人ワーク) もしも友達/恋人がエイズだと分かったら, あなたは今後も付き合っていけますか?</p> <p>13 ワークシートの回収, 挨拶</p>	<p>○感染ゲームで, 予想よりも多くの生徒が感染していることが予想される。また, フェノールフタレイン溶液を滴下するまで, どのコップが感染しているか分からない。実験を性感染症に置き換え, 性感染症の感染拡大の怖さを理解させる。</p> <p>《評価》 感染ゲームを通して, 性感染症が広がりやすい背景を理解している。(知識・理解)</p> <p>○友達とエイズの両方の場合についてワークシートに記入させる。 ○付き合っていけるかいけないか, 自分の立場を明確にした上で, その理由を書くように伝える。</p> <p>○ワークシートを回収し, 次の授業までに集計して3クラスの意見を見るところから次回の授業を始めることを伝える。</p>